

千代田区景観まちづくり重要物件（建築物）

番号	34	名称	山梨中央銀行東京支店		
指定日	平成 15 年 6 月 9 日		所在地	鍛冶町一丁目 6 番 10 号	
設計者	不詳		竣工	昭和 4 年（1929）	
					
歴史・文化的特徴 <p>明治 7 年（1874）に開業した「興益社」が前身で、明治 10 年（1877）に我が国 9 番目の国立銀行「第十国立銀行」となり、明治 30 年（1897）に私立「第十銀行」となり、昭和 16 年（1941）に「第十」「有信」の 2 銀行が合併し「山梨中央銀行」が誕生した。 現在の山梨中央銀行東京支店は、第十銀行時代からの建物を使用している。</p>					
意匠・構造の特徴 <p>第一層基壇部の上に、古典主義オーダーを模した柱列を並べたファサードを載せた、昭和前半期の支店銀行建築の典型。凝ったディテールはないが、手堅くまとめたプロポーションと納まりの処理に手腕が感じられ、近代的なスマートさも感じられる秀作。 大理石貼りのカウンターや床のタイルは、ほぼ竣工当時のままである。1 階営業室の天井は 2 階分の高さまでである。</p>					
周辺景観との関係 <p>JR 神田駅近くの中央通り沿いにある。 地方銀行の東京支店として建築されたもので、神田が日本橋にある日本銀行の地と連続していることを意識させ、信頼と親しみやすさを印象付け、街並に調和している。</p>					